

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 (特非)神戸定住外国人支援センター

1 事業の趣旨・目的

神戸市内外の日本語ボランティア支援者を養成し日本語のボランティアによる支援活動を広める。そのために学習希望に沿った支援活動にすぐ役立つ実践法の習得を目的とする。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2010年 3月9日	当センター 事務所	斉藤明子 高橋博子 宇野祐子 坂田稔 金宣吉 奥優伽子	2010年度日本語ボランティア講座の開催要項について	2010年度に行う「日本語ボランティア講座」の趣旨や内容、日程について企画。
2010年 5月15日	当センター 事務所	斉藤明子 高橋博子 宇野祐子 坂田稔 金宣吉 奥優伽子	2010年度日本語ボランティア講座の運営について	受講生の人数決定報告と模擬授業のためのグループ分け、講座内での役割分担など具体的な業務の確認。
2009年 7月17日	当センター 事務所	斉藤明子 高橋博子 宇野祐子 坂田稔 金宣吉 奥優伽子	受講生を実際にボランティア活動に携わってもらうための広報の方法など	当センターでのボランティア活動へ導くためのステップの意見集約と他ボランティア団体の紹介について。

【写真】



2010年7月17日

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 「日本語ボランティア講座」
- (2) 養成講座の目標 日本語ボランティアとしての技術を習得する
- (3) 受講者の総数 17人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- (4) 開催時間数(回数) 25時間 (10回)
- (5) 参加対象者の要件 特になし
- (6) 受講者の募集方法 広報神戸掲載(市報)、定期刊行物(KFC-News)内チラシ配布
- (7) 研修会場 アスタくにつか4番館(神戸市長田区久保町6丁目1-1)
- (8) 使用した教材・リソース みんなの日本語 I
- (9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月15日 14:30~17:00	日本語教育の概念/ ／文型とは、発音の 知識、表記	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	14名
5月22日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／授業の流れ、 名詞文	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	16名
5月30日 14:30~17:00	ワークショップ(ルー マニア語で授業を体 験する)(日本語ボラ ンティアとは) ／言葉がわからない	・KFC 協力者 小西タイシア ・兵庫ボランティアネットワ ーク運営委員 高橋 博子	16名

	ということの体験。日本語ボランティアの経験から。		
6月5日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／動詞文、形容詞文	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	16名
6月12日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／模擬授業 ①「～へ～ます」、 「います/あります」構文	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	15名
6月26日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／模擬授業 ②「形容詞文～は～ が すきです」、「て 形」を使った構文	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	15名
7月3日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／模擬授業 ③「～てもいいです か」、「ない形」「辞書 形」「た形」を使った 構文	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	14名
7月18日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／模擬授業 ④「趣味は～こと です」、普通形と普通体 、授受表現	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	14名
7月24日 14:30~17:00	日本語ボランティア 実践法／模擬授業 ⑤「～とき」、話題 カードを使った会話	神戸女学院大学非常勤講師 齊藤 明子	14名
7月31日 14:30~17:00	多文化共生	神戸定住外国人支援センタ ー理事長 金 宣吉	12名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート 別紙添付

② 実施主体からの研修内容結果評価

今回は受講生の数が例年より少なかったが、その分受講生にとって質の濃い講座となった。「日本語を教えるってどんなボランティア活動だろう」という漠然とした気持ちで参加された方に、教科書を教えるのではなく、相手に合わせて語彙や文型を選択し、相手がどの程度日本語がわかるのかを常に推測し、そのレベルに合わせた支援活動を行うという心構えが必要な事が理解されたと思う。それでもって適正に支援活動が行えるだろうし、支援する人材が増えたと思う。現時点で約1/3の5名の方が当センターでの活動登録をされ、5名の方は他団体に所属して行っていることがわかっている。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今後は日本語教室での日本語支援だけではなく、当地域のニューカマーの外国人と交流活動を行うとか、相手国を知るための学習をするなどして、彼らの理解者となってもらふことを目的に、研修会や交流会などを行っていきたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

講座には当地域(神戸市)の他のボランティア団体で活動する方も来てくれている。長年同じ講師で行っているので、教えるための基礎知識と支援者自身が考えて相手に合わせることによる成功する支援の心構えを、短期間で学ぶことができるという評判があるからである。「東灘日本語教室」「カトリック社会活動神戸センター」や「神戸市外国語大学」の日本語支援ボランティアグループは新ボランティア希望者に推薦してくれている。

また、当センターと兵庫県国際交流協会で行っている夏の「多文化共生講座」への参加も促すことができた。

② 研修後の人材活用

当センターではボランティアによる日本語支援や子ども学習支援を行っている。当講座が終わりに近づく時に、希望者に当センターの現教室の見学を受け付け、ボランティア登録に結び付ける。コーディネーターが希望などを聞き、スムーズに活動が行えるように調整する。

(12) 今後の課題

日本語ボランティアの数が増えることで、外国人への理解者の裾野が広まることはいいと思うが、日本語を学習する立場に立つと、ボランティアの指導者では物足りない点が残る。今後は日本語教育の専門家とボランティアとの活用を地域でどうやっていくかが課題である。

11 「日本語ボランティア講座」アンケート

日本語ボランティア講座は、皆様のご協力のもと、無事修了することとなりました。
いかがでしたでしょうか？ 今後の講座を開催する際の参考とさせていただきます
ので、
お手数ですが下記のアンケートにお答えいただきますようよろしくお願いいたします。

1. 受講動機（複数回答可）

- 3(a) ボランティアに興味があったから 7(b) 日本語を教えることに興味があったから
- 1(c) 「みんなの日本語 I」の教え方だったから (d) 知り合いに勧められて
- 2(e) その他 [・これから参考になると思ったからです。・既に始めていたが教え方を学ぶ為。]

2. 講座はいかがでしたか

- ① 5/15（第一回：日本語教育の概念/授業の流れ）
7(a) 良かった (b) 良くなかった 2(c) どちらともいえない
- 5/22、6/5～7/24（第二回、第四～九回：日本語ボランティア実践法）
11(a) 良かった (b) 良くなかった (c) どちらともいえない
- 5/29（第三回：日本語ボランティアとは、ルーマニア語で授業を体験する）
10(a) 良かった (b) 良くなかった 1(c) どちらともいえない
- 7/31（第十回：多文化共生を考える KFCの目指すもの）
7(a) 良かった (b) 良くなかった 2(c) どちらともいえない
- ② 合計時間数(2時間半×10回)について
(a) 多い 10(b) ちょうど良い 1(c) 少ない[・授業以外は短
めでいいと思う途中でブレイクが欲しい。]
- ③ 実習について (5回)
(a) 多い 10(b) ちょうど良い (c) 少ない

3. この講座の後どうなさいますか（複数回答可）

- 6(a) KFCで日本語支援をしたい 2(a') KFC以外で日本語支援をしたい
- 2(b) もう少し学びたい 2(c) 支援活動をしなない [・現在している日本語ボランティアを続ける。]

4. 今後日本語関係の講座があれば受講してみたいと思いますか

- ① 8(a) 受講してみたい (b) 受講しない 2(c) どちらともいえない
- ② 曜日・時間帯について受講可能な時間帯はいつですか（複数回答可）
4(a) 平日午後 2(b) 平日夜間 7(c) 土曜日午後

5. 受講されたご感想、ご意見があればお書きください

・とても参考になり、受講して良かったと思います。・ボランティア未経験者にはレベル高い授業かと思っていましたがわかりやすく、楽しく受講させていただきました。教案作成や実習も良い経験になりました。・斎藤先生の実践法は非常に良かった。・軽い気持ちで参加しましたが、大変内容の濃い講座でした。ありがとうございました。・受講内容は講義だけではなく実習もあって、受身的なものではなかったのも、緊張感を持って勉強出来ました。話を聞き、授業をしてみて、その難しさも感じました。受講していろいろな教え方の広がりが出てとてもよかったです。・とてもわかりやすい授業内容でした。・斎藤先生の授業はとてもわかり易くて、役に立ちました。ありがとうございました。・回を重ねるごとに難しさを感じました。また、勉強を続けて自分のできることからやってみたくて思いますが……できますでしょうか。・大変有益な講座で勉強になりました。今後役立てていきたいと思っています。ただ突然の事ながら八月の中頃に転居することになり、こちらでの活動は、出来なくなりました。残なんですけど、教えて頂いた内容をもって、また転地で頑張りたいと思っています。ありがとうございました。斎藤先生がとても熱心に教えて下さって、勉強になりました。また講義だけではなく日本語のボランティアの現状とか、ルーマニアの方に来て頂いてルーマニア語での授業を体験したのはとても良かったです。回を重ねるにつれて日本語を知っていても外国の人に理論的に教えるということは大変難しいことだということを思い知らされました。今後も学習を続け、日本語ボランティアとして活動してみたいなあとと思います。

6. 受けてみたい講座の内容や講師のご希望があればお書きください

・斎藤先生の実践法。

ご協力ありがとうございました。